



# マンション通信

編集・発行／編集委員会（事務局／江戸川区住宅課計画係）



## 巻頭言 街づくり・人づくり



### 「子ども王国」と言われています

マンションが建てられ始めたころ、「コンクリート・ジャングル」とけなされ、地方の親戚からは「息苦しくなる」と悪評だったことを思い出します。

江戸川区は、東京 23 区内で15歳未満の子どもの人口比が最も高く、出生率もトップクラスです。それだけ若いファミリー層が多く、子育てしやすい環境になっていると考えられます。

区内のマンションも、世代を追って住み継がれ、子どもの声が絶えない街づくりの主角として、戸建て住宅の街並みから集合住宅街へと変貌しつつある感じがします。都心へ通勤しやすく買い物に便利なスーパーが近く、そして子どもの遊び場に恵まれ教育環境も悪くない、そんな街づくりの主角としてマンションの未来を期待したいものです。



### 特色はみどり豊かに

敷地にゆとりのある区内のマンションの多くは、ぐるりと植栽で囲まれていることが特色になっています。都心部のタワーマンションに比して郊外型と呼ばれていますが、人の住居としてはこちらのほうが癒される感じがします。

区は、かねてより区民一人当たり「樹木 10 本、公園 10 m<sup>2</sup>」の目標を立て整備に取り組んでおり、その一環として、親水公園や親水緑道などを生かしている植栽に熱心な集合住宅の存在は心強い限りです。

これからの街づくりを考えると、郊外型で通勤しやすく、子育てする若い人たちを呼び込みやすく、また高齢者層も安心してのんびり生活しやすい、そのようなマンションの活力を生かす管理を目指しましょう。

### 目次

|                                |       |     |
|--------------------------------|-------|-----|
| ● 巻頭言 街づくり・人づくり                | ..... | 1   |
| ● マンション管理の本音① プロ探し編            | ..... | 2   |
| ● マンション管理の本音② 修繕・専有部分編         | ..... | 3   |
| ● ～熊本地震に学ぶ～ 自主防災組織の必要性について     | ..... | 4～5 |
| ● 防災セミナーのお知らせ                  | ..... | 5   |
| ● 江戸川区の相談窓口及び支援施策一覧            | ..... | 6   |
| ● その他のマンションの相談窓口／東京都の支援制度・相談窓口 | ..... | 7   |
| ● 行政コーナー                       | ..... | 8   |

## マンション管理の本音① フロ探し編

### 管理のベテランとフロ

マンション管理組合の関係者は、たとえ多年にわたり業務に携わり、細部まで精通したベテランであっても、管理のプロとは言えません。

プロとは、その仕事を専業として生計を立てているものを指すとされています。マンションの区分所有者として別に仕事を持ち、あるいはリタイア後に管理組合の役員になっても、専業ではなく、プロに徹しきれないからです。

管理業務のプロには、さまざまな資格のほか、実績、経営規模、それに人柄や対応のテクニックなど、あらゆる角度からの資質が求められます。それだけに、理想のプロを見出すのは容易ではなく、委託先の管理会社を短期間に3度も変えた管理組合の実例もあります。

### 委託管理は管理業のフロに

新築のマンションでは、デベロッパー系列の管理業者が実務に当たっているケースが多いはずですが。

管理業者は売主であるデベロッパーとの連携が取りやすい反面、建物や設備に不具合があっても親会社に遠慮して掛け合わない恐れがあります。それに比べて、系列外や独立系の管理会社ならその心配は薄れ、サービスも違うかもしれません。管理組合の運営が落ち着き次第、管理業者の変更を検討してみてもいいかもしれません。

管理会社を変えるのは難しいと思っている方もいるようですが、案外面倒なものではありません。億劫がらずに、新業者を公募するなり、インターネットや電話で問い合わせしてみるなり、組合側が動くだけできっと道は開けると思います。全国に2,000社をはるかに超える管理会社があるといわれていますので、適任業者が見つかるはずですが。

要は住環境をよくしたい、そのためにはどうするかを思い立つことです。

### 主体性の確保と見識

管理会社に何もかもすべて任せっきりにしたなら、管理組合の役員としては楽かもしれませんが、それでは主体性の放棄になってしまいかねません。

少なくとも会計業務だけは組合側の主導権の下に置くべきです。管理費・修繕積立金の収支は、マンション管理の生命線です。口座は組合側の目が届くところで扱うようにしてもらい、支出のすべてをその都度チェックできるようにしておきましょう。

当月分の収支状況は、翌月末までに報告があるはずですが、それに目を通し、疑問があれば指摘して説明を求め、修正を指示できるだけの見識を、組合の主要役員ならば示す必要があります。

### 結局は人の輪・人の管理

管理組合の仕事の対象は共用部分、建物・設備の維持ですが、そのメンテナンス実務を担当するのは委託先の管理会社や専門業者の人たちであり、それを監理するコンサルタント、組合の担当者、経費の収支をチェックする組合の理事会、そして総会まで人の輪で処理されます。

人間関係ほど難しいものはありませんし、反面スムーズに運ばばこんな楽しいこともあります。日常普段に人間関係の改善を考えておきましょう。

管理組合の業務の底流には、人の管理が潜んでいることを忘れずに、みんなの考えを確かめる機会を作るべきです。その一環として、例えば居住者全員を対象に、委託業務の実態評価についてのアンケート調査を、3～5年ごとに実施するという方法などが良いでしょう。



## マンション管理の本音② 修繕・専有部分編

### 修繕工事はコンサル選びから

マンションの修繕は、細々した小修理や応急修理から始まりますが、それを見つける専門家、修理の仕方を相談する相手として、また工事業者を見つけもらうなど、コンサルタントがどうしても必要です。

昨年3月に改正されたマンション管理の適正化に関する指針(平成13年8月1日国土交通省告示1283号)において「工事の発注等については、利益相反行為等に注意して、適正に行われる必要がある」と明文化されました。

そんな中、不適切なコンサルタントにより、水増しされた工事費の提案がされたり、平均的な工事単価をはるかに上回る請求がされたなどの問題が注視され、本年1月27日付、『設計コンサルタントを活用した大規模修繕工事の発注等の相談窓口(7ページ参照)の周知について』が同省より関係団体宛に通知されました。

居住者の中には業界に通じた人もいるでしょうし、役員の知り合いに信頼できる人物がいれば紹介してもらいましょう。

選ぶポイントは第三者的立場で判断できるクリーンな人柄です。報酬や委託形態なども決めておきましょう。

### 工事入札の問題点

大規模修繕や配管類の更新などの工事の都度、入札を繰り返すのはいささか問題です。

はじめに請け負った業者は設計図書の検討から現状の確認まで、さまざまな作業にかなりの人手と時間を要し、その経費も相当な額になります。このような初期設定をその都度重ねる必要はないはずです。

経験を積んだ業者に任せてしまえば、手間は省けますし、工事経費も節減できることになります。ただし、毎度のことになると、なれ合いの印象を持たれかねませんので、区分所有者に実情をよく説明しておくべきです。

### 工事の評価

すべては工事の結果次第と言えそうですが、専門家を交えて、色々な視点や角度から総合的に判断することが大切です。

工事直後ばかりか、何年か経ってから問題が浮き上がるケースもありますので、評価が覆ることのないよう注意しましょう。

### 専有部分は自由に

本来、管理組合としての仕事の対象は共用部分の維持・管理ですし、専有部分については区分所有者の自由に任せているはずですが。

しかしながら、集合住宅として隣近所と文字通り密着している関係上、近所迷惑になりそうなことは避けなければなりません。それが区分所有法6条の「共同の利益に反する行為をしてはならない」ということになります。

具体的には、住宅専用に限るとか、楽器類演奏の制限時間帯やペット飼育禁止など、管理組合としてルール化してあるケースが見受けられますが、違反に対しいずれもペナルティまでは決めているところはないようです。

### 禁令と良識

マナーを守れない身勝手な人たちに対しては、さまざまな禁令があれば注意しやすいでしょうが、反発を招きトラブルになりかねません。

そうはいっても、違反の放置は無責任であると非難を受けます。

時代が変われば、価値判断も変わり、禁令の必要性も変わりますが、その都度改変するのも煩わしいものです。

むしろ、禁令があることで非常識な住民の多いマンションとの印象を持たれかねません。

すっきりした形で、管理組合のルールを示すことで居住者の良識を示してもらいましょう。

## ～熊本地震に学ぶ～ 自主防災組織の必要性について

マンション管理組合においては、近年頻発する大規模災害に直面して、マンションにおける防災対策を否応なしに見直されなければならない状況におかれている昨今です。

マンションにおける災害時の避難方法については、様々な方面からの教示あるいは指導などもあり、マンション内待機が最も安全、という考え方が一般的に浸透しつつあると思われます。

この状況を踏まえての防災対策といえば、通常すぐに頭に浮かぶのは、「家具転倒防止」「安否確認」「備蓄」「帰宅経路の確認」といったものではないでしょうか。

これらのことは各家庭でも部分的には独自に行うことができます。

いわゆる、最近よく使われる防災対策用語「自助」「共助」「公助」のうちの「自助」の部分です。

しかしながら、現実の災害は頭で考えているものとは大きな隔たりがあり、自分あるいは家庭内だけでは右往左往するばかりで何もできないのが実態です。

こうした場合に大きな力となるのが「自主防災組織」です。

ところが、この「自主防災組織」が存在しないマンションも数多く見られますし、存在しても実動していないマンションも多々あります。

ちなみに、「江戸川区内マンション協議会」が今年7月、参加 23 団体に行ったアンケート調査によれば、「自主防災組織がある」が約 50%、そのうち、「実動している」が約 50%という結果が出ています。

また、「平成25年度マンション総合調査（国交省）」では、『自主防災組織を組織している』のが 19%、大規模災害への対応として『特に何もしていない』が 29.2%、となっており、ここでも相当に低い値が出ています。

では、なぜ「自主防災組織」を持たないマンションがこれほど多くあるのでしょうか。

これには様々な理由があると思われますが、最も一般的に考えられるのは「自主防災組織」が「自治会」の中の組織として位置づけられていることに端を発していると思われます。

「自主防災組織」は、大型台風の被害を契機に制定された「災害対策基本法」が始まりとなっています。法の中では「住民の隣保共同の精神に基づく自発的な防災組織」と定義されています。

したがって、自治会でなくてもマンションの管理組合自体が「自主防災組織」を結成することができ、管理組合の業務に関しては、昨年3月に改正された「マンション標準管理規約（国交省）」において、コミュニティ活動のうち、防災・防犯、美化・清掃など、マンションの管理に資するものは可能（第32条第12号）であることが明確にされました。

前述の「江戸川区内マンション協議会」では、これら「自主防災組織のないマンション」及び「組織はあっても実動していないマンション」を対象に、どうしたら実質的な「自主防災組織」を立ち上げることができるか、という問題の検討を始めています。

9月24日に行われた「9月度役員会」において、昨年発生した「熊本地震」の事例を基にディスカッションが行われ、今後の進め方について話し合われましたので、その一部を紹介いたします。（5ページ表参照）

この会議に出席された皆さんは、「熊本地震」の実情を見聞きして、「自主防災組織」あるいはそれに代わる管理組合内の防災対策組織がいかに重要であるかを再認識した模様です。

なお、区の防災危機管理課防災係では、町会・自治会の自主防災組織結成時に、必要な防災資器材を現品助成していますが、管理組合においても同等の取り扱いに変更になったということです。

## ～熊本地震に学ぶ～ 自主防災組織の必要性について

| 熊本地震では、どのようなことが起きたか？   |   |
|--|---|
| （一般社団法人マンションライフ継続支援協会（MALCA）・飯田勝啓（マンション管理士）研修資料）   |   |
| ◎熊本地震の被害状況   |   |
| ・平成28年4月14日、16日、19日（1週間以内に震度7クラスが2回）<br>・熊本県のマンションの被害（一般社団法人マンション管理業協会データ）<br>（大破---1棟／中破---48棟／小破---348棟／軽微---130棟／被害無---39棟）   |   |
| ▼地震直後の問題点<br>▽食料・生活物資不足<br>・食料/水/電池/防災用品（簡易トイレなど）/ガソリン<br>・避難所では一時的に配給不足、長蛇の列！<br>・スーパーや量販店の多くが被災し、営業できず！  | ◆教訓<br>・物資不足は災害直後のみ<br>・物流と人の手配の問題<br>・基本通り、家庭で最低3日分の備蓄が必要  |
| ▼マンション居住者の証言（報道情報より）<br>・「トランポリンで飛び跳ねているような感じだった。」<br>・「洗い物中で流し台にしがみつくながら精いっぱい。」<br>・「室内は足の踏み場もないほど、どうしてよいかわからない。」<br>・「停電で部屋の中が真っ暗になり、子供の名を呼び探り当てた。」<br>・「玄関のドアがゆがみ、壁に亀裂。怖くて家にいられない。」 |   |
| ▼その時、管理会社は・・・？<br>（熊本市内管理会社の事例）<br>・発災直後に社内に災害対策本部設置<br>・安否確認難航（複数の社員自宅も被災）⇒出勤できず<br>・動ける社員で管理物件被災調査<br>・重大物件（優先度）付けて緊急対応<br>・熊本県外の本社、支店からの支援で各マンションに対応                                | ◆教訓<br>・発災後3日間は管理会社の支援もあてにできず   |
| ▼被災2週間後の生活環境（熊本市内）<br>▽ライフライン復旧状況<br>・ガス復旧（順次開栓、熊本市内4月30日完了宣言）<br>・水道復旧（水道本管は復旧宣言あるが・・・）<br>→圧力低下、敷地内ポンプ・受水槽損傷などにより給水不能マンション多発。スーパー銭湯、コインランドリー、不動産屋（賃貸）に殺到                             | ◆教訓<br>・災害時の給水問題が改めて問題に   |
| ▼マンションでの実際の対応<br>▽発災直後の対応<br>・災害対策本部設置（集会室）<br>・安否確認：居住者名簿を基に全戸確認、携帯電話番号把握<br>・炊き出し：各戸の食糧持ち寄りで実施<br>・水道確保：近隣の井戸水借用<br>・情報掲示：被災状況と管理組合対応を公開<br>・集会室を避難所として使用：希望者には寝泊まりの場にも              | ◆教訓<br>・管理組合と自治会で常時連携   |
| ▼災害時の管理組合の役割<br>▽不便な在宅避難生活の中でのリーダー<br>・仮設水道設置など生き残ったインフラの活用<br>・復旧対策の検討（理事会など）<br>・居住者の精神的フォロー（疑問、不安への相談）<br>・復旧手続きへのサポート（地震保険等の認定など）  | ◆教訓<br>・建物、設備の修復プラス居住者の精神的な支え→大きな役割！  |
| <地震教訓 10か条>  |   |
| 1 耐震化（耐震補強、耐震枠（玄関ドア）等）<br>2 漏水対応（温水器の転倒、蛇口の閉め忘れ）<br>3 被災生活対応（本部設置、掲示等情報共有）<br>4 備蓄（管理組合の資機材）<br>5 落下物注意（エキスパンションジョイント・タイル破損）   | 6 規約の整備（専有部への立入り、応急復旧）<br>7 コミュニティ（日頃から交流が大切）<br>8 復旧改修（長期修繕計画・資金計画を参考に）<br>9 資金確保支援制度（合意形成にも寄与）<br>10 地震保険（共有部の加入検討） |

**区主催 マンション管理組合セミナー 防災士が語る「マンションの防災について」**  
**平成29年12月10日(日) 小岩区民館 3階集会室1 午後1時～(受付は12時30分～)**  
費用は無料ですので、お気軽にお越しください。 問い合わせ:住宅課計画係 電話:03-5662-6387



マンションのことでお困りの管理組合に、  
対応のできる相談先や支援策を一覧にしましたので、ご利用ください。

江戸川区の相談窓口及び支援施策一覧

※詳細は各担当係へお問い合わせください。

|       | 名称等                        | 概要   | 問合せ先                           |
|-------|----------------------------|--|--------------------------------|
| 管理・相談 | 管理組合設立等に関する届出              | 管理組合設立時及び設立届後に届出内容に変更があった場合は随時届出願います。届出用紙は、区のホームページからダウンロードできます。   | 住宅課計画係<br>03-5662-6387         |
|       | 分譲マンション無料相談会               | 管理上のさまざまな相談にマンション管理士が対応します。<br>毎月第4土曜日・13時～16時（受付は15時まで）<br>グリーンパレス2F相談室（予約優先・当日受付可）<br>※グリーンパレスへの問い合わせは、ご確認ください。<br>※3営業日前までにご予約ください。   |                                |
|       | マンション管理、建替え・改修アドバイザー制度利用助成 | 東京都防災・建築まちづくりセンターが実施する「マンション管理アドバイザー制度」のAコース・Bコース及び「マンション建替え・改修アドバイザー制度」のAコースを利用した際の派遣料の3分の2を助成します。必ず派遣申込前に申請してください。<br>※派遣の申込は公益財団法人東京都防災・建築まちづくりセンターへお問い合わせください。   |                                |
|       | 東京都分譲マンション専門相談             | 東京都のマンション課において、弁護士（月3回）、一級建築士（月1回）が20分程度の相談に応じます。時間は午後1時から3時までです。完全予約制で、申し込みの締め切りは相談日の3日前までとなり、区で受付をしています。相談日は区にご確認ください。   |                                |
| 防災    | 耐震化助成制度                    | 昭和56年5月31日以前の旧耐震基準で建築された建築物<br>①耐震アドバイザー派遣制度（無料）<br>②耐震診断助成 最大3分の2<br>③耐震設計助成 最大3分の2<br>④耐震改修工事助成 最大50％<br>★④の限度額は、戸あたり最大100万円を助成します。期間限定で平成30年3月31日までに工事着手したものは、一戸あたり30万円が加算されます。<br>※緊急輸送道路沿道建築物、特定緊急輸送道路沿道建築物に該当する場合は、これと異なります。<br>※助成率は変更になる場合があります。<br>※詳しくはお問い合わせください。 | 建築指導課構造係<br>03-5662-1106       |
|       | 家具の転倒防止金具取り付け              | 65歳以上の熟年者のみの世帯などに、区内の大工さんたちのグループが、家具の転倒防止金具を無料で取り付けます。   | 住宅課相談係<br>03-5662-0517         |
|       | 防災資器材の助成                   | 町会・自治会などの自主防災組織結成時に必要な防災資器材を現品助成します。<br>助成基本額7万円＋（町会・自治会加入世帯数×30円）<br>※最低金額7万5千円   | 防災危機管理課<br>防災係<br>03-5662-2129 |
| リフォーム | 住宅リフォーム資金融資あっせん制度（専用部）     | 住宅リフォーム工事などの資金を信用金庫から低金利で受けられます。江戸川区が利子を負担し、融資金利は年2％（耐震補強工事、住宅用太陽エネルギー利用機器設置工事などの場合は年1.5％）で、融資限度額は500万円（ただし、工事見積額の80％以内の額）です。資格審査がありますので、工事着工の40日前までにお申込みください。   | 住宅課相談係<br>03-5662-0517         |
| その他   | 江戸川区内マンション交流支援専門家派遣制度      | 複数の管理組合が合同で実施する勉強会・交流会に講師として専門家を招く場合、区が謝礼をお支払いします。代表者を決めて、開催日の3週間前までに申請してください。   | 住宅課計画係<br>03-5662-6387         |

マンションのことでお困りの管理組合に、  
対応のできる相談先や支援策を一覧にしましたので、ご利用ください。

その他のマンション相談窓口(抜粋)

※詳細は各連絡先へお問い合わせください。

|           | 名称等                                | 概要   | 連絡先  |
|-----------|------------------------------------|--|--|
| 管理        | 公益財団法人マンション管理センター                  | 管理組合の運営・管理規約の内容などに関する相談に応じます。また、長期修繕計画・計画修繕工事などの建物・設備の維持管理に関する窓口受付、設計コンサルタントを活用したマンション大規模修繕工事の発注等の相談に応じています。 | 運営・管理規約<br>03-3222-1517<br>修繕、建物・設備の維持管理<br>03-3222-1519 |
|           | 特定非営利法人日本住宅管理組合協議会                 | 法律、建築・設備管理組合運営の各相談に対し弁護士や一級建築士、専門担当理事らの専門家が対応します。<br>電話相談：15分まで無料、窓口相談：1時間まで5,000円（予約制）                      | 03-5256-1241   |
|           | 一般社団法人東京都マンション管理士会所属城東支部           | 管理組合の管理者等又はマンションの区分所有者などの相談に対応しています。適切な助言や指導、援助等のコンサルティング業務を行っています。  | 03-6356-8690   |
| ムリ等全住まい一般 | 公益財団法人住宅リフォーム・紛争処理支援センター（住まいるダイヤル） | 住まいについて様々な相談を行う団体です。<br>設計コンサルタントを活用したマンション大規模修繕工事の発注等の相談窓口になっています。  | 0570-016-100   |
| 融資資金      | 独立行政法人住宅金融支援機構                     | 「マンション共用部分リフォーム融資」による資金の借入れに応じています。  | 03-5800-9366   |

東京都の支援制度

| 制度名  | 概要  | 連絡先                                     |
|--|---|---|
| マンション改良工事助成                                  | マンションの共用部分を修繕する場合に、（公財）マンション管理センターの債務保証を得て、住宅金融支援機構の「マンション共用部分リフォーム融資」を利用する管理組合に対し、機構の金利が1%低利になるよう、最長7年間利子補給をします。 | 都市整備局住宅政策推進部マンション課<br>03-5320-5004      |
| 東京都マンション管理アドバイザー制度<br>東京都マンション建替え・改修アドバイザー制度 | 建築士やマンション管理士などの専門家をアドバイザーとして派遣します（有料）。<br>※江戸川区において助成制度をご用意していますので、事前にご相談ください。                                    | 公益財団法人東京都防災・建築まちづくりセンター<br>03-5466-2103 |

東京都の相談窓口

| 相談内容 | 名称                                | 概要  | 連絡先          |
|------|-----------------------------------|---|--------------|
| 耐震改修 | 東京都都市整備局市街地建築部建築企画課               | 耐震改修工事の工法・事例の紹介、耐震マークの交付、緊急輸送道路沿道の建築物の耐震化に関することを行っています。               | 03-5388-3348 |
| 建替え等 | 東京都都市整備局住宅政策推進部マンション課             | マンション建替法に基づくマンション建替事業・マンション敷地売却事業に関する認可等及び除却の必要性に係る認定などのご相談をお受けしています。 | 03-5320-5007 |
| 耐震化  | 公益財団法人東京都防災・建築まちづくりセンター 耐震化総合相談窓口 | 電話又は窓口にて午前9時から午後5時（水曜日は午後7時まで（受付は午後6時まで））耐震化に関するご相談を受けています。           | 03-5778-2790 |

※上記以外のマンション管理組合に関する相談窓口をお知りになりたい場合は、東京都マンションポータルサイトのホームページでご覧になれます。  
URL：<http://tosiseibi.metro.tokyo.jp/mansion-tokyo/index.html>  
また、区役所住宅課（北棟2階）においてもパンフレットを配布しています。



下記のお問い合わせ先・申込先  
都市開発部住宅課計画係  
電話：03-5662-6387

区主催のセミナーのご案内  
**防災士が語る「マンションの防災について」**  
詳しくは5ページ又は同封のチラシをご覧ください。

## マンションアドバイザー制度利用助成のご案内



区内の分譲マンションの適切な維持管理の促進と円滑な建替え又は改修を支援するために、(公財)東京都防災・建築まちづくりセンターが実施する「マンション管理アドバイザー制度」又は「マンション建替え・改修アドバイザー制度」を利用する管理組合等に対して、派遣料の一部を助成します。必ず、事前に申請してください。

対象経費：(公財)東京都防災・建築まちづくりセンターが実施する「マンション管理アドバイザー制度のA及びBコース又は「マンション建替え・改修アドバイザー制度」のAコースを利用した際の派遣料(消費税、テキスト代等は対象外)

対象者：区内分譲マンションの管理組合又は区分所有者(区分所有者の場合は理事長の委任状が必要)

助成回数：同一分譲マンションにおいて「マンション管理アドバイザー制度」のA及びBコース又は「マンション建替え・改修アドバイザー制度」のAコースにつき、年2回を限度

助成申請：派遣の申し込みをする前に申請

交付申請：派遣後1か月以内かつ助成決定日の属する年度内に申請

助成金額：アドバイザー派遣料の3分の2(千円未満切捨て)

申請に必要な書類：＜助成申請＞

マンションアドバイザー制度利用助成申請書

＜交付申請＞

①マンションアドバイザー制度利用完了報告書

兼助成金交付申請書

②管理アドバイザー派遣書の写し

又は建替え・改修アドバイザー派遣書の写し

③派遣料の支払いの事実及び金額を確認することのできる書類の写し

④その他(必要に応じて)

【管理、建替え・改修アドバイザー制度(実施内容)に

関する問い合わせ、申し込み先】

(公財)東京都防災・建築まちづくりセンター

まちづくり推進課 TEL:03-5466-2103

## マンション通信

### 編集委員 募集中!

「マンション通信」の編集委員は、みなさんの管理組合や区分所有者の中から集まったメンバーです。

毎号、情報交換を行い、実際の経験に基づく記事づくりを行っています。

ぜひ、あなたの知識や経験を活かしてみませんか?

## 江戸川区内マンション交流支援 専門家派遣制度

複数の管理組合が合同で実施する勉強会・交流会に講師として専門家を派遣する場合、区が謝礼をお支払いします。限度額は、講師一人一回につき3万円です。代表者を決めて、開催日の3週間前までに申請してください。

## マンション管理士による無料相談会

相談日時：毎月第4土曜日

13時～16時(受付は15時まで)

相談場所：グリーンパレス2F 相談室

(グリーンパレスへの問い合わせはご遠慮ください。)

定員：5組(予約優先・当日受付可)

※3営業日前までにご予約ください。

◆◆◆◆ ご意見をお寄せください ◆◆◆◆ ◆◆◆◆ こちらもご覧ください ◆◆◆◆

住宅課計画係 TEL 5662-6387

江戸川区ホームページ ～住まい～

FAX 5662-1118

<http://www.city.edogawa.tokyo.jp/kurashi/sumai/index.html>

【編集委員】酒井貴生(西葛西)

志賀直哉(東葛西)

竹内修一(中葛西)

中村公雄(清新町)

増淵裕史(西葛西)(五十音順)

【編集協力】塩津富久郎(小松川)